

事業完了報告書

1. 事業内容

(1) 活動日数と対応件数、および活動ボランティア数

(表1)

| 月 | 活動日数 | 述べ対応ニーズ数 | 活動スタッフ数※1 | 活動ボランティア数※2 |
|-----|------|----------|-----------|-------------|
| 7月 | 25日 | 25件 | 70名 | 46名 |
| 8月 | 28日 | 71件 | 95名 | 691名 |
| 9月 | 26日 | 65件 | 74名 | 517名 |
| 10月 | 29日 | 59件 | 88名 | 440名 |
| 11月 | 27日 | 36件 | 82名 | 161名 |
| 12月 | 18日 | 23件 | 65名 | 140名 |
| 1月 | 19日 | 21件 | 51名 | 36名 |
| 2月 | 24日 | 24件 | 74名 | 49名 |
| 3月 | 28日 | 30件 | 85名 | 34名 |
| 計 | 123日 | 354件 | 684名 | 2,114名 |

※1 団体に会員として登録しているスタッフの活動人数

※2 八代市社会福祉協議会からの派遣ボランティア含む

(2) 活動地域

八代市坂本地区（旧坂本村）

(3) 活動内容

- ① 被災家屋からの土砂・瓦礫の撤去活動と大切なもの等救出活動
- ② 被災地域における土砂・瓦礫の撤去活動
- ③ 家屋再生に向けた被災住民のサポート、家屋修繕活動
- ④ 地縁団体と連携した復興イベントへの協力活動
- ⑤ 生活再建、地域再生に係る物資支援活動
- ⑥ 八代市社会福祉協議会、坂本地区自治協議会、各地縁団体へのサポート活動

（初動）7月初旬～下旬

「コミサポひろしま」では、発災直後の7月4日（土）、熊本県で活動するスタッフ及び関係者と被災情報の共有を実施。協議の結果、スタッフ・関係者が繋がりのある「八代市坂本地区」への支援を決定しました。

当初、コロナ禍と言うこともあり、資機材や遠隔での後方支援も模索しましたが、被害状況が鮮明化するに連れ、後方支援では被災地の現状に対応しきれないと考え、広島よりスタッフが現地入りし、熊本県内スタッフ、地縁団体、繋がりのある被災者世帯と協議を行い、必要なスタッフのみが現地入りする形で活動を開始しました。

また、コロナ禍、長雨、インフラの途絶と言った3重苦により活動が長期化すると判断し、コンテナハウスを用いた拠点の設置等も合わせて実施しています。

（活動初期）7月下旬～10月下旬

活動は、重機・ダンプを活用した土砂・瓦礫の撤去を中心とし、被災者との繋がりがあがる「油谷地区」より開始しました。活動を通じて地域との信頼関係を築くとともに、インフラの復旧、天候の回復等も見つつ、その後、徐々に他地域での活動も実施しています。

また、事業評価の欄に別途記載しますが、坂本地区自治協議会、八代市社会福祉協議会と8月以降は連携を密に図り、一般ボランティアのコーディネートや地域ニーズへの対応も積極的に行っています。

（活動中期）10月下旬～12月

地域で活動を継続する中で、「坂本地区で残りたいが、自力での再建は精神的にも経済的にも難しい」という状況から、地域を出ざる得ない被災者が多くいる状況に直面しました。

すでに、8月より坂本地区自治協議会、八代市社会福祉協議会、八代市役所、八代JC、地縁7団体、当団体も含めた外部支援複数団体からなる連携協議会が発足しており、その中でも、家屋再生・地域再生が課題として挙がっており、土砂・瓦礫の撤去等活動と並行して、可能な範囲で家屋の再生に向けた修繕活動を開始しました。

（活動後期）1月～3月

インフラ途絶から最後まで残されていた「瀬戸石地区」での大切なもの救出活動等を行いつつ、家屋修繕活動を中心に活動を移行。4月27日（火）現在も現地で活動を継続しています。また、八代市社会福祉協議会と連携した活動サポートも継続して実施しています。

2. 事業評価

1) 事業目標の達成状況：

【契約時の目標】

上位目標：地域、被災者生活再建が一日も早く成し遂げられる他、地域に帰ってこられる被災者が増えることで、よりよい地域復興がなされる。

到達目標：地域・被災者の復旧の促進、再生家屋の増加

活動目標：① 被災再生支援

② 家屋再生に向けた床下清掃、消毒

③ 敷地内における専門技術を要する土砂・瓦礫等撤去

数値目標：上記①～③活動合わせ 60世帯前後 （対応ニーズ数約300件）

【目標の達成状況】

延べ対応ニーズ数は354件、世帯数では50世帯程度となっており、数値的な目標は達成していると考えます。①家屋再生に関しては10世帯程度が再生済み、または再生に向けて進んでおり、一定の成果は得ています。

2) 事業実施によって得られた成果：

土砂・瓦礫の撤去を通じた被災世帯・地域の復旧への貢献。また、家屋再生による復興支援に加え、以下について、大きな成果と考えています。

① 八代市連携会議における過去の被災地経験の還元と立上げ応援を通じた地域主体の促進

8月中旬、坂本地区自治協議会における復旧・復興に関する会議へ代表小玉とスタッフが相談を受け出席。これまでの経験から、地域で今後起こりうる事態や必要な活動等について共有させて頂くとともに、地域での連携会議発足、地元主体の大切さを伝える機会を得ることが出来ました。

その後、同協議会、八代市社協、地縁団体が一堂に会する連携会議発足後も、可能な限り経験を伝えていくとともに、消毒や家屋修繕など、技術的な面での連携を積極的に実施しました。

また、地縁団体である「チーム桃ちゃん」をはじめ、各団体が協力して実施するイベントへの協力等を通し、地域での信頼関係を作るとともに、地域主体を応援することで、現在も続く連携会議や各地縁団体の活動へ貢献出来ている点が、大きな成果と考えています。

② 地元秀岳館高校のボランティアコーディネートを通じたボランティア活動・地域活動の促進

8月以降、地元秀岳館高校のボラバスの受入れと活動のコーディネートを行っています。長期に渡り積極的に高校生が活動する環境を提供することで、被災者さんのコミュニケーションが生まれ、気持ちのケアに繋がっただけでなく、参加した高校生が今後のボランティア活動、地域づくりにおいても多くの刺激を得ることが出来たと考えます。

現在は、解体を悩まれていた家屋を地域の集会所として再生するプログラムを同校と実施するなど、具体的な成果に繋がっています。

③ 住民さん自身による家屋再生や、地域での生活の再建の促進

家屋修繕活動においては、被災した世帯・個人がご自身で積極的に修繕を行う他、出来る部分を一緒に行うことで、その後の再建を決められ、業者を通して再建を実現するなど、ただ修繕するのではなく、其々の被災者が主となる再建が進められています。

「どこまで関わるのか」悩みながらの実施ではありますが、活動を通し、被災者個々人が前に進むお手伝いが出来ている点を成果と考えています。

3) 成功したこととその要因：

① 長期支援を念頭に置いた地域のペースに合わせた信頼関係の構築

発災当初より活動が長期化することを念頭に、短期的な成果ではなく住民が活動の中心であり、地域が主体となることを考え活動を継続しています。八代市坂本地区は元々ダムの撤去運動が行われたように、地域の団結力、キーパーソンが多い地域でもあり、そういった地域事情も考慮しつつ連携・協働を進めたことが大きな要因と考えています。また、坂本地区自治協議会、八代市社会福祉協議会

等、地域の皆さんと良好な関係を築けた点も重要な要因でした。

② 多くの支援者からのご支援

①に記載した長期支援を念頭に置いた活動は、財政的なご支援があって初めて成り立つと考えています。今回の支援においては貴財団の支援をはじめ、多くの一般からのご支援に支えられ実施ができています。そういったご支援に支えられている点が、成果に至る要因と考えています。

4) 失敗したこととその要因：

① 広域連携と情報共有

コロナ禍であったことも大きな要因とは考えますが、地元主体（八代市坂本地区）での活動であった一方、県域の情報共有等、十分に実施は出来ていません。資機材や物資配布・活動等、当団体で扱える最大限の手配や支援を実施していますが、必要に応じて広域で情報共有することで、より成果をあげられた可能性もあります。

4) 主な連携団体

（地縁団体）坂本地区自治協議会、八代社会福祉協議会、秀岳館高校、チーム桃ちゃん、Reborn、チームはぶうち、球磨川アドベンチャーズ、チームドラゴン、道野カンパニー、鶴の湯温泉

（域外団体）水俣ハブパワー、被災地NGO協働センター、レスキューアシスト、（一社）Hooh、幡ヶ谷再生大学、 広島、常総、千葉、熊本県益城町、他全国各地からの支援者の皆さん

3. 事業成果物

具体的な活動報告書は今後作成予定

日々の活動についてはFBにて毎日掲載 <https://www.facebook.com/comsup.hiroshima>

4. 添付資料

(写真)



(重機・ダンプの活用 7/20)



(重機の活用 8/24)



(秀岳館高校と住民さんとの活動 9/11)



(連携会議の様子 9/15)



(家屋消毒 10/2)



(床下の処理 10/11)



(家屋再生に向けた清掃活動 11/5)



(給湯器の取外し 11/11)



(復興イベントへの協力 11/24)



(大切なものの救出 12/10)



(住民さんも一緒に家屋再生 2/26)



(秀岳館高校との集会所再生 2/24)

以上